

2017年 びわ湖トラスト 講演会

- 《日時》 2017年5月13日(土) 11:10～12:30
《場所》 旧大津公会堂 3階ホール(大津市浜大津1-4-1)
《内容》
- 11:10～11:40 講演①
中野伸一 京都大学生態学研究センター長、教授
「京都大学・大津臨湖実験所を端緒とする琵琶湖研究」
- 11:40～12:15 講演②
久保英也 滋賀大学経済学部教授
「金融技術の環境保護への応用」
- 12:15～12:30 質疑
12:30～13:30 交流会(会費1000円)

【会場へのアクセス】 滋賀県大津市浜大津1-4-1

旧大津市公会堂

- 京阪電鉄「浜大津駅」より徒歩1分
- JR琵琶湖線(JR東海道線)「大津駅」より
徒歩約15分
- 名神高速「大津IC」より車で約15分

駐車場

最寄りの公共駐車場(有料)をご利用ください



【お問合せ】: 認定NPO法人びわ湖トラスト事務所

TEL: 077-522-7255 / FAX: 077-572-7265

E-Mail: biwako-trust@road.ocn.ne.jp

URL: <http://biwako-trust.com/>

【定休日】 土日祝祭日・水曜日(その他臨時休業あり)

講演会概要

講演①「京都大学・大津臨湖実験所を端緒とする琵琶湖研究」

中野 伸一先生 京都大学生態学研究センター長・教授

京都大学は、1914年に東洋初の湖沼研究施設として京都医科大学附属大津臨湖実験所（大津臨湖）を創設して以来、100年以上にわたる琵琶湖研究の歴史を有する。この時代の生態学は学問体系が整っておらず、生理学の一部として扱われていた。大津臨湖は我が国の陸水学を牽引し、その後70年以上経過して生態学研究センター（生態研）として生まれ変わった。本講演では、大津臨湖と生態研が我が国の陸水学や生態学、さらには一般社会においてどのような役割を果たしてきたのか、その概略を紹介する。

講演②「金融技術の環境保護への応用」

久保 英也先生 滋賀大学経済学部教授

琵琶湖の環境・水質を守る要は、琵琶湖を取り巻く森林にある。それは生態系を整え水質浄化を行うのに加え、温暖化防止や土砂流出防止など多くの機能を有している。我々は、太古の昔から森林の恩恵は当然のものとし、いわば、切り出して販売する木材価値以外の価値を考えたことがない。それは、毀損して初めて感じることになるが、実は、極めて大きな経済価値を有している。そこで、滋賀県の森林価値を森林簿の林小班データを用いて試算し、森林の価値と重要性を再認識したいと思う。

キ リ ト リ

2017年 びわ湖トラスト講演会参加申込書

代表者氏名

参加人数

名



【お問合せ】: 認定NPO法人びわ湖トラスト事務所

TEL : 077-522-7255 / FAX : 077-572-7265

E-Mail : biwako-trust@road.ocn.ne.jp

URL : <http://biwako-trust.com/>

【定休日】 土日祝祭日・水曜日（その他臨時休業あり）